



## 1 授業のねらい（主に身につけて欲しい力）

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

## 2 授業の進め方

- (1)課題を提示し、自ら考えたり他者の考えに触れて考えを広げたり深めたりする時間を設定する。
- (2)教師の指示や説明は簡潔にし、対話を重視しながら、多面的・多角的に考えさせる授業を心がける。
- (3)ICT等を使用し、視覚的に伝わりやすい提示の仕方を心がける。
- (4)視覚から入る情報を理解しやすい整然とした板書を心がけ、「聞く」「書く」のメリハリをつけた授業を実践する。

## 3 学習上の留意点

- ・学習用具の準備（教科書、ノート等）の徹底する。
- ・積極的に授業に参加し、毎授業に集中して取り組む。
- ・自分の考えを持ち、積極的に表現する。
- ・丁寧な文字を書くよう意識する。
- ・普段から書籍や新聞等の文章に触れる機会を多くつくる。

## 4 補助教材の活用方法（自学自習の進め方）

- ・基礎基本を身につけるためにスタディサプリを活用する。
- ・単元テストを繰り返し学習に活用する。
- ・読解力を身につけるために、読解練習の補助教材（読み方レスキュー）を活用する。
- ・読書（読書単元との関連）を自主的に取り組む。

## 5 単元テスト

- (1)授業で扱った事項、およびテスト前に指定した範囲から出題し定着を図る。
- (2)単元テストや漢字テスト等の範囲は事前に伝え、定着を図るため再テストを実施する。
- (3)高校入試や各種調査等で問われる「思考・判断・表現」を問う問題も含め出題する。

・※単元テストのみで評価が決まるわけではなく、次の評価の内容と方法で総合的に学習状況をみとって評価します。

## 6 評価の内容と方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	社会生活に必要な言語能力について、その特質を理解し適切に使っているか。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしているか。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしているか。
方法	授業中の言動や話し合いの活動の様子、自力解決時の様子、学習プリントの記述内容、学習の振り返りや自己評価等の記述内容、単元テスト、漢字テスト、観察		

7 授業計画（見通しを持って予習・復習の自学自習に取り組みましょう。提出物も忘れずに！）

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
1 学期	4	【読む（詩）】言の森 【読む（小説）】握手	単元テスト 漢字テスト ノート ワークシート 振り返り パフォーマンス課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。</li> <li>○「読むこと」において、文章の種類をふまえて、物語の展開の仕方などを捉えている。</li> <li>○敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。</li> <li>○「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。</li> <li>○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。</li> <li>○「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。</li> <li>○「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。</li> <li>○「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B)</li> <li>○「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</li> <li>○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</li> </ul>
	5 6 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言語発見1 敬語のはたらき</li> <li>【話す・聞く】グループディスカッション</li> <li>○漢字を身につけよう①</li> </ul> 【読む（評論）】 批判的に読むとは 【読む（論説）】間の文化 【書く】説得力のある文章を書く ○漢字を身につけよう② 【読む（解説/俳句）】俳句の世界 コラム 夏井いつきの赤ペン教室 【書く】批評文 ○言葉発見2 和語・漢語・外来語  【読む（随想）】海を越えた故郷の味 ○漢字を身につけよう③		
2 学期	9	【読む（論説）】 フロン規制の物語-〈杞憂〉とく転ばぬ先の杖のはざままで ○文法の窓 表現につながる文法 【話す・聞く】パブリックスピーキング状況に応じて ○漢字を身につけよう④		<ul style="list-style-type: none"> <li>○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。</li> <li>○話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>○「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。</li> <li>○「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。</li> <li>○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。</li> <li>○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。</li> <li>○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</li> <li>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決めている。</li> <li>○「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。</li> <li>○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</li> <li>○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句などについて理解を深め、話や文章の中で使っている。</li> <li>○「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。</li> <li>○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。</li> <li>○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</li> </ul>
	10	【読む（古文）】和歌の世界 【読む（古文）】おくのほそ道 ○言葉発見3 言葉の現在・過去・未来 【読む（漢文）】論語 【書く】漢字一字 自分自身や社会を見つめる ○漢字を身につけよう⑤		
	11	【読む（情報）】【読む（論説）】 【話す・聞く】 【読む（実用文・図表）】 情報の信頼性を確かめる  慣用句・ことわざ・故事成語 ○漢字を身につけよう⑥		
	12	【読む（詩）】初恋 ○四字熟語 【読む（小説）】故郷 ○漢字を身につけよう⑦		
3 学期		【読む（論説）】私とは何か 【読む（小説）】坊ちゃん  【話す・聞く】【書く】名言集 中学校生活を振り返って		<ul style="list-style-type: none"> <li>○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</li> <li>○「話すこと・聞くこと」において、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</li> <li>○「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。</li> </ul>